

名戸ヶ谷ビオトープだより

第23号

2007年2月1日

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会発行

<http://nadogaya-biotope.org/index.html>

発行責任者： 篠崎 将 Tel/Fax: 04-7173-6353

第5回総会無事終了 不耕起部会・水田稲作部会を合併して「稲作部会」に

「名戸ヶ谷ビオトープを育てる会」第5回総会は1月20日(土)、午前10:00～11:20の時間帯で柏市南部クリーンセンター・ホールを会場に開催されました。小笠原議長報告について、来賓として出席した柏市環境保全課、越川課長、からビオトープを育てる会の小学生や市民をも巻き込んだこの一年の先駆的活動に対する感謝と新年度に引き続き期待が述べられました。ついで篠崎会長から詳細に亘る2006年度活動報告と2007年度活動計画(案)の報告を受けたあと、第1号～第3号の各議案の審議が行われ、11:20分に終了し、ついで11:50分までスライド「ビオトープのいきもの」を鑑賞しました。



2007年度組織構成図



第1号議案

2006年度活動及び決算・監査報告

田んぼ一枚分減反となった「不耕起部会」からは好天に恵まれて平年並み収穫(精米で205kg)となったこと、田んぼ一枚ごとに有機肥料の散布を行った結果多少の効果が見られたこと、今後の課題は水路、土上げ、防水等の土木工事と味覚の一層の向上である、との報告があり、「水田稲作部会」からは収量135kg(精米)の用途先

についての報告と今年度の課題(旧木道撤去に伴う木道工事と畦直し)に関して、また、「はたる・いきもの部会」からは、生きもの観察会を地域にもう少しアピールすべきであった、との反省と、春・秋のビオトープ生態系調査の継続に加えて今年度は生きもの観察会を春・夏・秋の3回実施してデータの蓄積をはかりたい、との報告があり、決算報告と併せて承認されました。

第2号議案 2007年度活動予定および予算案審議

人手不足に因る作業の困難点解決の一つの方法として、「水田稲作部会」と「不耕起部会」を合併し「稲作部会」とする提案が承認され、また、柏市からビオトープへの受託費(06.4月～07.3月期間の清掃・草刈分)150,000円については、07.3月末精算であるが、2007年度予算の雑収入(予定)として計上したとの説明があり、了承されました。

第3号議案 役員改選

規約第5条に基づいて総会に提出された推薦名簿のつぎの役員が承認されました。

会長: 篠崎 将、 副会長: 才川寿麿、 幹事 (稲作部会: 小笠原 智、 窪田孝志、 植物部会: 佐々木光正、 ホタル・生きもの部会: 松清智洋、 会計: 影山賢三、 事務: 高田昭治、 広報: 春山秀雄、 房子)。その他、副幹事2名(会計: 上村憲治、 稲作部会: 外川克久)および監事: 村川五郎。(広報担当)

	全 般 (幹事会・広報等)	稲作部会 (在来水田)	稲作部会 (不耕起水田)	植物部会	ホタル・生きもの部会
07/01	1/20 第5回総会				・土手、水路、池の整備作業
07/02	2/1 23号発行 2/3 定例幹事会	・溝・畦の補修 (2/17日)	・2/17 畦直し・防水工事・水路浚渫		・湿地帯整備 ・植樹・巻貝放流
07/03	3/3 定例幹事会	・畦補修・田起し (3/17日)	・3/17 2月と同じ作業(全員で)	・大型植物の発芽状況調査	・生態調査・アメリカザリガニ除去・ヘイケボタル幼虫放流
07/04	4/1 24号発行 4/7 定例幹事会	・田起こし (4/21日)	・苗の予約 ・2・3月と同じ作業	・大型植物の刈り取り	3月と同じ・生きもの観察会
07/05	5/12 定例幹事会	・代掻き(5/5) ・名戸小田植え(5/8,火) ・植え直し(5/19)	・苗購入・田植、植え直し・水量管理	大型植物の刈り取り(第3土曜日の9:30~11:30)	・ビオトープ全域生態調査
07/06	6/1 25号発行 6/2 定例幹事会	・草取り(6/16)	・6/16 肥料散布	・大型植物、帰化植物の刈り取り	5月の予定と同じ
07/07	7/7 定例幹事会	・名戸小の草取り(7/3,火) ・草取り(7/21)	・水量管理(7/21) (雑草取り、全員)	・6月と同じ(第3土曜日)	・生きもの観察・近隣のホタル発生地見学・ホタルの採卵・幼虫飼育
07/08	8/1 26号発行 8/5 定例幹事会	・雀対策ネット(8/4) ・草刈(8/18)	・ネット・水量管理 ・合同草刈(8/18)	・大型植物、アメリカセンダングサの刈り取り	・同上 ・ホタルの採卵と幼虫飼育
07/09	9/1 定例幹事会	・ネットはずし(9/1) ・名戸小稲刈り(9/4) ・脱穀(9/25)	・稲架けパイプ設営、稲刈り・脱穀(時期未定)	・帰化植物の刈り取り	・生きもの観察会、ビオトープ全域生態調査
07/10	10/1 27号発行 10/6 定例幹事会	・籾摺り・精米 ・ふれあいの集い	・ふれあいの集い	・大型植物(マコモ)の刈り取り	・9月と同じ
07/11	11/10 定例幹事会	・米の配布 ・収穫祭(11/3)	・収穫祭(11/3)		・水路等環境整備作業
07/12	12/1 28号発行 12/1 定例幹事会	・大掃除 ・正月飾り作り	・12/16 大掃除(全員)	・年末大掃除	・水路等環境整備作業

正月飾り作りーあ、緇い方忘れちゃった！



12月16日、名戸ヶ谷ビオトープの年末大掃除を終えた後、影山さんを中心に、木村さんの敷地の一角にブルーシートを敷いて正月飾りづくりをしました。講師影山さんの配慮で、稲藁も適度に湿りを帯び、緇いやすいよう既に打たれて柔らかな状態で用意されており、飾り用の半紙も用意されていました。教わる生徒の側は、「ありや、緇い方を忘れちゃったぞ！」などとめいめいが勝手なことを言いながら約一時間弱、みんなで正月飾り作りと雑談を楽しみました。(広報担当)

年末ビオトープ大掃除の報告

12月16日、14名のメンバーが集まり、年末の大掃除をしました。ビオトープの周辺にはさまざまなゴミが捨てられていて、収集したゴミはごみ袋4つに相当する量でした。しかし、ビオトープの内側に捨てられたゴミは以前と比べると格段に少なくなっています。このことはゴミ収集作業の成果かと思われまです。道路際の雑草も刈り取り、ビオトープはさっぱりとした姿で新年を迎えることになりました。(佐々木光正)



稲作部会

子どもたちと楽しい稲作りを

Aゾーンの旧木道が解体されました。在来水田周りの畦や田んぼも傷んでしまいました。田起こし前に補修する予定です。特に、不耕起水田までの通路はしっかりした畦にする必要があります。また、Bゾーンの「回生の里」側の木道の改修作業もあります。2・3月の合同作業日中心に作業を行いますのでよろしくお願いします。

なお、もち米作りは、今年も名戸ヶ谷小学校の子どもたちと楽しくやりたいと思いますので、会員のみなさんのご協力をよろしくお願いします。(在来水田:小笠原 智)

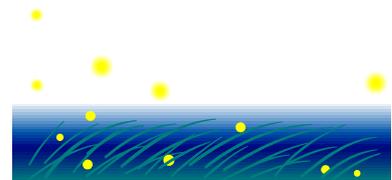


不耕起部会最後の仕事は12月10日(月)に9名の会員で行った深田の土量不足を補うための水田周囲の水路浚渫でした。水路を跨いでの作業は結構「キツイ」作業でした。また、漏水対策として議論した結果、水路周囲の畦の内側をぶらの波板で補強することになり、2月から作業にとりかかることに決まりました。

(不耕起水田:窪田孝志)

ホタル・生きものの部会

2006年度はホタルエリアに合計60匹のヘイケボタルの幼虫を放流しましたが、結果的には2匹のみ成虫が確認されました。2007年は2006年と同数の幼虫を放流する予定です。去年は11月、3月、5月と時期をずらして放流しましたが、2007年度は3月頃に一斉に放流して様子を観察するつもりです。また、ビオトープ全域の生態調査は例年通り春・夏の2回、生きもの観察会は3回(春・夏・秋)を予定しています。(松清 智洋)



ビオトープの生きもの



ショウリョウバッタ バッタ科

体長 45～75mm、メスの方が著しく大きく、体は緑色または灰褐色である。オスは前翅と後翅を重ね合わせて、キチキチと音をたてて飛ぶスマートなバッタである。子どもの頃、後ろ足を重ねて持つと、米をつくようにお辞儀を繰り返すのを経験した人も多いと思う。米つきバッタという別名の由来である。正面から見るとやさしい顔をしている。触覚は平たくつぶされた剣型をしている。足が非常に長いのが特徴である。飛び立ってもすぐ近くに下りるので捕まえやすい。



ショウリョウバッタモドキ バッタ科

体長 40～55mm でショウリョウバッタよりはるかに小さく、オンブバッタよりはやや大きい。触覚も両者の中間くらいで、かなり平たくつぶされた形である。名前のようにショウリョウバッタに似ているが、飛んでもキチキチと音はしないし、足も一見して短い。体は黄緑色だが背面はうっすらと虹色を帯びる。イネ科の茎にとまっていて、人が近づくとクルリと裏に隠れる。数が非常に少なく、千葉県では一般保護生物に指定されている。昨年秋の生態系調査で初めて見つかった。(篠崎 将)

長い間ご苦勞さまでした

「名戸ヶ谷ビオトープを育てる会」の発足以来、苦勞を共にされてきた副会長の三坂俊明さん、監事の小島琢夫さん、副幹事(水田稲作部会担当)の増田房子・甚一さん、の4人の方々がこのたび第5回総会を機に退任されることになりました。退任される4人を代表して小島琢夫さんから退任の挨拶があり、名戸ヶ谷ビオトープのみなさんの献身的な活動に対する賛辞が述べられました。

NPO 関係の仕事に携わっている立場から見て名戸ヶ谷ビオトープは行政との関係もとてもスムーズにいらしているとのこと。なお、増田ご夫妻は今後はアドバイザーとして必要に応じて活動に参加され、小島さんは一会員として会に残るとの意思表示がありました。(広報担当)

お知らせ : 窪田さんと相談の上、今年も不耕起稲作の田植えに使う苗20枚を佐原市の藤崎さんに1月27日に発注しました。苗の受け取りの頃には、またお知らせします。(副会長・前不耕起稲作部会長 才川寿麿)

編集後記 : 朽ちて危険な旧木道が市によって解体・撤去されましたが、新しい木道工事の実現は財政的に厳しい状況に置かれております。合同作業日の作業として畦直し、土上げ、防水工事が2月から始まるばかりでなく、Bゾーンの木道改修、中央木道の改修、さらにAゾーンの木道改修への自力挑戦も必要になります。みなさんの協力をお願いします。なお、今年度からは「ビオトープだより」を会員全員に郵送することになりました(無料)。会員拡大に活用されることを期待します。(広報担当 春山)